

令和5年度病虫害発生予察情報 発生予報第6号

令和5年8月3日
発表：福島県病虫害防除所

1 普通作物

作物名	病虫害名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
水 稲	いもち病 (穂いもち)	中通り 浜通り 会 津	やや早い 平年並	やや少ない	<p>作柄解析試験の結果から、本年の出穂期は中通り、浜通りでやや早く、会津で平年並と予想される。</p> <p>7月下旬の巡回調査では、葉いもちの発生ほ場割合は平年より低い(－)。</p> <p>天候予報(7月27日発表1か月予報)によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並から多いと予想されている(±)。</p>	<p>散布剤は穂ばらみ末期と穂揃期に施用する。</p> <p>薬剤耐性菌の出現を防ぐため、同一系統の薬剤の連用はさける。</p>
	紋枯病	全 域	平年並	平年並	<p>7月下旬の巡回調査では、発生量は平年より少なかった(－)。</p> <p>天候予報によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並から多いと予想されている(+)。</p>	<p>窒素肥料の多用をさける。</p> <p>散布剤は穂ばらみ期～穂揃期に施用する。</p> <p><u>気温が高いと上位葉鞘への進展が早い</u>ため、注意する。</p>
	斑点米カメムシ類	中通り 浜通り 会 津	やや早い 平年並	やや多い	<p>本年の出穂期は中通り、浜通りでやや早く、会津で平年並と予想される。</p> <p>7月下旬のすくい取り調査では、畦畔雑草での発生量が平年より多かった(+)。</p> <p>天候予報によると、向こう1か月の気温は高いと予想されている(+)。</p>	<p>割れ穂の発生しやすい品種では、カスミカメ類による被害が助長されやすいため注意する。</p> <p>詳細については8月1日付け注意報第2号を参照する。</p>

注) 予報の根拠の中で(+)は多発要因、(－)は少発要因、(±)は平年並要因であることを示す。

○注意が必要な病虫害

ダイズ	<p>■べと病</p> <p>発生には品種間差があるため、「里のほほえみ」などの発生しやすい品種を作付している場合は発生の有無を確認し、発生が認められる場合は、発生初期から7～10日おきに薬剤を散布してください。</p>
-----	---

より詳しい発生状況や防除対策は、

福島県病虫害防除所ホームページ<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>をご覧ください。

お問い合わせはTEL:024-958-1709、FAX:024-958-1727またはe-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jpへお願いします。

◆福島県では6月10日から9月10日まで令和5年度農薬危害防止運動を実施中です。
◆農薬を使用する際は、ラベルをよく読んで正しく使用しましょう。